

1月の果実の見通し

令和4年12月28日現在
山形県東京事務所

区分 品目	主産地	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		販売見通し
		前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
りんご類	青森 長野 山形 ほか	4927	110%	5476	376	安い	320	179	3.6%	長野・山形はほぼ年内に終了。1月は青森・岩手が軸となってくる。同産地とも降雨の影響により例年より上位階級は少ない見込み。ツル割れ等の発生も多く、早急な売場確保が求められる。
いちご類	栃木 福岡 静岡 佐賀 ほか	3551	110%	3712	1833	安い	1626	-	-	年内から前進出荷であったが、九州は一番果、2番果連続した出荷が見込まれるため、今後の天候不順がなければ、1月中旬までは順調な出荷予定。その後、玉が小さくなり、端境が見込まれる。
キウイ	和歌山 福岡 愛媛 ほか	510	120%	694	567	安い	491	2	0.4%	各産地とも「ヘイワード」が本格出荷となる。福岡産は33玉中心とやや小玉傾向も数量は前年並み。前年不作だった和歌山産・愛媛産は大幅増加するも一昨年並み。出荷状況を見ながらの販売体制となり、昨年と同じく中旬から引き合い強まる見込みも数量増を反映し、価格は前年比安。
みかん類	愛媛 長崎 熊本 ほか	13765	105%	13356	279	並み ~ 安い	297	-	-	年内の天候は良く、順調な生育で食味も良い状態の出荷となった。年明けは静岡産「青島」中心の販売となる。「青島」の出荷量は前年よりは多く、平年並みの出荷を見込む。Lサイズ中心で、みかん類相対では量は前年よりも多い。年越し在庫はあまりないが、年明け出荷は前年よりも多いため、相場は前年よりも弱い予想。また、1月は愛媛産「袋掛けみかん」など高単価商品の販売が始まる。
干し柿	山梨 長野 福島	262	115%	276	1939	安い	1696	0	0.0%	原料柿は前年不作だったが本年産は確保できている。富山・山梨産は年内販売主流のため、年明けは入荷比率は低い。前年大幅減少した福島産は原料柿の数量確保できているが、奇形・変形果が多く、前年以上も一昨年並みには回復せず。長野産「市田柿」は例年より早めに年末にピークを迎えたが、1月中旬まではまとまった量がでてくる。数量増と年明けは需要も落ち着き、価格は前年を下回る。

引用資料:「東京都中央卸売市場における果実の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、果実の入荷・市況見通しについて(東京青果㈱)

入荷量について:「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)